



# 埴輪が語る 古墳の祀り

ほにわ

いふん

かた

まつ

2020年  
10月3日(土) ▶ 12月6日(日)

盾持人形埴輪  
(大谷山22号墳・和歌山市所蔵)

巫女形埴輪  
(大日山35号墳・和歌山県  
教育委員会所蔵・重要文化財)



冢形埴輪  
(車駕之古址古墳・和歌山市所蔵・県指定文化財)



家形埴輪  
(大日山35号墳・和歌山県教育委員会  
所蔵・重要文化財)



船形埴輪【複製】  
(宝塚1号墳・三重県松坂市教育委員会所蔵)



力士形埴輪  
(井辺八幡山古墳・和歌山市所蔵・  
市指定文化財)



鶴形埴輪  
(今城塚古墳・大阪府高槻市所蔵)



巫女形埴輪【複製】  
(仁徳天皇陵古墳・宮内庁所蔵)

和歌山県立紀伊風土記の丘 〒640-8301 和歌山市岩橋1411 電話 073-471-6123  
ホームページ <https://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp>

【開館時間】9:00~16:30(入館 16:00まで)【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は次の平日)  
【入館料・特別展期間】一般360円(290円)・大学生220円(160円)※高校生以下、65歳以上、障害者及び県内在学の留学生の方は無料(要:証明書)  
( )内は20名以上の団体料金

※今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては開催中止等の変更が生じる場合があります。詳しくは当館HPをご確認ください。





# 埴輪が語る 古墳の祀り

## 埴輪を立て、うつわを捧げる。 それは亡き首長への祈りか

3世紀中頃から7世紀の古墳時代には、前方後円墳に代表される古墳が数多く造られました。古墳は、大王や首長たちのお墓で、その大きさや形が彼らの権力や政治的な身分を表す一方、遺体の埋葬に伴いさまざまな祀りが執り行われる舞台でもありました。

この祀りの舞台である古墳には、うつわを捧げもつ巫女や武器を掲げる武人、豪華に飾り立てた馬、神殿を思わせる大きな高床の家など多様な埴輪が、一定のルールのもと組み合わせられて立て並べられ、さまざまな情景を表現していたと考えられます。土師器や須恵器と呼ばれる土器もまた、古墳に埋葬された亡き首長たちへの捧げものとして用いられました。

こうした古墳の祀りは、古墳時代の幕開けとともにヤマト政権により生み出され、各地域の首長たちの間に広まっていきます。埴輪などの造形や配置に表される祀りの内容は、時代とともにその姿を変えながら、さらにそれぞれの地域で独自の姿へと変化していったと考えられます。

本展では、ヤマト政権の大王墓などと紀伊の首長たちの古墳に立てられた埴輪と土器の「造形」や「配置」から、紀伊の古墳祭祀について紐解いていきたいと思います。

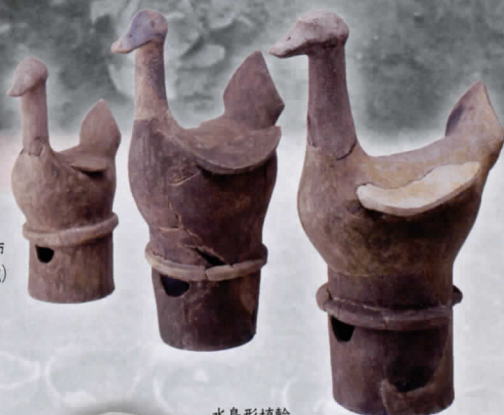


轆形埴輪(背見山古墳・和歌山市所蔵)

角杯を背負う武人形埴輪  
(井辺八幡山古墳・同志社大学  
歴史資料館保管・和歌山市所蔵)



普通円筒形埴輪  
(天田28号墳・御坊市  
教育委員会所蔵)



水鳥形埴輪  
(兼山古墳・奈良県広陵町教育委員会所蔵)



馬形埴輪(前山A58号墳・和歌山県教育委員会所蔵)

### 特別展関連シンポジウム

**日程** 11月8日(日) **時間** 10:00~16:30

**会場** 和歌山県立紀伊風土記の丘 資料館 **参加費** 資料代+入館料

- 講演**
- 「祭祀・古墳・埴輪—祭祀の視点から考える死者と古墳の関係—」 講師: 笹生衛氏(國學院大學)
  - 「魏晉南北朝陵墓の陵園空間と喪葬」 講師: 藤井康隆氏(名古屋博物館)
  - 「韓半島三国時代の古墳祭祀」 講師: 山本孝文氏(日本大学)
  - 「古墳への埴輪・土器の配置とその思想」 講師: 和田一之輔氏(独)国立文化財機構 奈良文化財研究所)
  - 「紀伊の埴輪と土器祭祀」 講師: 金澤舞(当館)

**討論司会** 辻川哲朗氏((公財)滋賀県文化財保護協会) **電話申込** 10月23日(金) 13:00~ **定員** 45名(先着順)

### 特別展講座

**第1回** **日程** 10月11日(日)

「九州における埴輪と石人石馬の配置—福岡県の事例を中心に—」 講師: 井上義也氏(福岡県春日市教育委員会)  
「岩橋千塚周辺にみる埴輪祭祀とその意味」 講師: 金澤舞(当館)

**第2回** **日程** 11月29日(日)

「今城塚古墳にみる大王墓の埴輪祭祀」 講師: 今西康宏氏(大阪府高槻市立今城塚古代歴史館)  
「儀礼の場の変遷からみる岩橋千塚古墳群の特質」 講師: 藤井幸司氏(文化庁)

**会場** 和歌山県立紀伊風土記の丘 資料館 **時間** 13:30~15:30

**参加費** 資料代+入館料

**電話申込** 第1回 9月25日(金) 13:00~ **定員** 30名(先着順)

第2回 11月13日(金) 13:00~

### 学芸員による展示解説

**日程** 10月17日(土)、10月24日(土)、11月22日(日)

**時間** 13:30~14:30 **参加費** 入館料 **参加方法** 当日受付



須恵器装飾付き耳杯(井辺八幡山古墳・同志社大学歴史資料館保管・和歌山市所蔵)



**交通**

- JR和歌山駅東口・和歌山バス(紀伊風土記の丘)行き 終点下車
- バス発車時刻 平日 / 7:50 9:00 10:00 11:50 13:35 14:35 15:35
- 土・日・祝日 / 9:00 10:00 11:50 13:35 14:35 15:35
- 阪和自動車道・和歌山インターから車で約5分

### 和歌山県立紀伊風土記の丘

〒640-8301 和歌山市岩橋1411 電話 073-471-6123

ホームページ <https://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp>

【開館時間】9:00~16:30(入館 16:00まで)【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は次の平日)

【入館料・特別展期間】一般360円(290円)・大学生220円(160円)※高校生以下、65歳以上、障害者及び県内在学の留学生の方は無料(要:証明書)

( )内は20名以上の団体料金

※今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては開催中止等の変更が生じる場合があります。詳しくは当館HPをご確認ください。